



第23回山階芳麿賞 記念シンポジウムのご案内

公益財団法人山階鳥類研究所は、第23回山階芳麿（やましな・よしまろ）賞の内藤靖彦 国立極地研究所名誉教授への贈呈を記念して、下記のとおり、記念シンポジウム「超小型の記録計で動物の生活を探る～バイオリギングの歩みと動物研究」を開催いたします。

山階芳麿賞は、日本の鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった者（団体を含む）をたたえ、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的として、1992（平成4）年に山階鳥類研究所財団設立50周年を記念して設けたものです。この催しにつきまして貴媒体にて取りあげていただけますようお願いいたします。

記

第23回山階芳麿賞 記念シンポジウム

「超小型の記録計で動物の生活を探る

～バイオリギングの歩みと動物研究」

ペンギンやウなどの海鳥類をはじめ、ウミガメ類や、海産哺乳類など、潜水する生き物が、どんな深さにどのくらいの時間潜って、何をしているのかは、以前は知る方法がありませんでした。今回山階芳麿賞を受賞された内藤靖彦国立極地研究所名誉教授と研究グループは、世界に先駆けて動物装着型の記録計を開発し、その後電子式の潜水記録計（データロガー）を開発して、これらの生き物の生態解明に大きな貢献をされました。現在バイオリギングと呼ばれるこの研究手法によって、深さや時間にとどまらず、移動の速度や加速度などのデータ、さらにロガーをつけた個体の側から見た画像も得られるようになり、その結果、幅広い分野で大きな研究の進展がみられたのです。シンポジウムでは内藤名誉教授と研究グループのメンバーに、バイオリギングの始まりから、現在の鳥類学における研究の広がりまで、わかりやすく紹介していただきます。

日時：2024（令和6）年9月21日（土）13:30～16:00 開場 12:30

会場：東京大学弥生講堂 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内
（東京メトロ南北線東大前駅徒歩1分、東京メトロ千代田線根津駅徒歩8分）

参加費：無料 申込み：不要 定員：300名（先着順）

内容：●講演 「バイオリギングの始まりとゾウアザラシ、そして鳥類の生態解明へ」
内藤靖彦（ないとう・やすひこ、国立極地研究所名誉教授）

「ペンギン遊泳のダイナミクス」

佐藤克文（さとう・かつふみ、東京大学大気海洋研究所教授）

「バイオリギングによる海鳥研究の最前線」

高橋晃周（たかはし・あきのり、国立極地研究所教授）

●質疑応答 内藤靖彦・佐藤克文・高橋晃周

主催：公益財団法人山階鳥類研究所

共催：朝日新聞社

後援：我孫子市（予定）

本件についてのお問い合わせ先

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115 (公財) 山階鳥類研究所「山階賞」係

電話: 04-7182-1101 FAX: 04-7182-1106

E-mail: koho@yamashina.or.jp (広報)

※ 受賞者の経歴・業績については下記リンクから報道発表資料をご覧ください。

https://www.yamashina.or.jp/hp/p_release/p_release.html